

中沢かつゆき 通信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

自民党鎌倉市連合支部青年局長

6月定例会

6月9日から6月定例会が開かれました。2月の予算説明の時に市長に求めました、「子宮頸がんワクチン」の助成が補正予算として提出されました。唯一予防できるガンとして全国的にワクチンの中学生以下の接種助成が進められてきておりますので、今回の予算措置はよかったですと思います。保育園建設として、常盤に民間保育園・ピヨピヨ保育園が建設されます。13年前、子供がピヨピヨ保育園に通っていたころからの懸案でしたが、ようやく建設用地が見つかりました。教育委員と公平委員、監査委員の選任もあり、新しい陣容が決まりました。

一般質問は、1.安全・安心な街づくりについて 2.景気対策について 3.環境課題についてを行いました。2年目となりましたので、具体的な数字と事例で質問を行っていかうと思います。市長との懇談では、市会議員ももっと勉強しなくてはなりません、職員ももっと勉強し専門集団とならなくてはならない時代になっています、と申し上げました。数年で移動になるから、とほとんど現場を理解しない担当課の方もいますが、今までの経験などから、分野によってはかなり専門性の高い質問を行っていきたいと思います。

環境課題について

山崎で計画しているバイオマス施設計画は、生ごみと下水汚泥を混合させ、メタンガスを発生させエネルギー化するというものです。渋谷の温泉施設の爆発事故は記憶に新しいところですが、原因は温泉中の「メタンガス」です。さらに、メタンとともに発生する、腐食性ガスである「硫化水素」も「爆発性ガス」です。この硫化水素やメタンガスは、温泉においても、種々対策を講じてきました。この事故をきっかけとして、温泉法が改正されました。この経験から、メタンガスと硫化水素（その他発生するガスもありますが、特に危険な2種について取り上げました）対策の考えを聞きました。メタンガスは比重が軽いので比較的设备をきちんとすることで人的な被害は少なくなります。特に設備を防爆仕様とすることで、かなり危険性はなくなります。しかし、硫化水素は、比重が重く滞留しやすい性質があります。その毒性は、毎年のように硫化水素を含んだ温泉で事故が起きていることからわかります。人が作業する施設で、比重の重いガスが滞留しやすいとなると、その対策は万全すぎることはありません。硫化水素対策方法はまたこれからの検討課題とのことでしたが、その処理方法によっては、さらに金額がかかることも考えられます。安全第一に、きちんとした設備検討をお願いしました。

山崎バイオマス施設の稼働が1年以上伸びることになりました。結果、今泉クリーンセンターの稼働がさらに伸びることになります。今でも稼働を延長している状況の中、今泉地区の皆さんには大きな負担をお願いしています。さらなる延長をお願いしたのであれば、行政としてしっかりとした施策を行うべきでは、という質問に対しては、今泉地区の皆さんからの要望に対しては、しっかりと検討していきます、との回答がありました。

景気対策について

公共工事は、景気対策の一翼を担っています。市内の建設関係の会社も不況の真ただ中にあります。中期計画の前倒しについては、自民政権時代の「街づくり交付金」を活用して今年度発注を行っています。現政権ではこの交付金がなくなりましたので、来年度以降の前倒しのめどが立たない、とのこと。地方へのしわ寄せが、来年度以降かなり来ると思いますので、公共工事がより少なくなってしまうことを危惧しています。受注会社については、鎌倉市の税金で行う市発注の公共工事ですので、市内業者が優先されるべきと思いますが、金額によっては低入札で県内の業者への発注となっています。鎌倉市の発注は、電子入札で「予定価格公開」を行っています。これは、上限金額（設計価格）を公開しそれ以下で入札を行うというものです。

今年に入って、滋賀県豊郷町公共工事談合に関して、大津地裁で「落札率が97.6%で談合が行われたものと推認される」という判決が出ました。具体的な数字が出ての判決ですので、今後談合が疑われる公共工事の落札率の判断基準となってくると思います。鎌倉市の公共工事は、昨年度市内発注の平均落札率は85.2%、県内発注が72%です。一方、市内発注のある工事では、平均落札率98.7%というものもあります。低入札調査落札率が85%から90%に今年度から引き上げられましたが、あまりにも高すぎる落札率や低すぎる落札率は、入札方法を考えていかななくてはならないと思います。業務が煩雑になりますが、例えば県内発注の公共工事を分離発注を多くして、市内業者が入札しやすくするのも方法です。市内発注も分離発注を多くする必要もあると思います。入札参加が少なくなっている業種では、できるだけ参加を呼び掛ける努力も必要です。市発注の公共工事は、やはり適正価格でしっかりとした工事を行い、景気浮揚に寄与する必要があると思います。

安全・安心な街づくりについて

洪水内水ハザードマップが配布されました。これによると、鎌倉駅周辺が内水氾濫、洪水浸水地域となっています。長く言われてきていることですが、観光都市鎌倉で脆弱な都市整備をいつまでもそのままというわけにはいなくなっています。できるだけ早い時期の計画実行をお願いします。一方急傾斜地も多く、毎年のように台風などで土砂崩れが起きています。県が主体となって急傾斜対策工事を順次行っています。監視や対策は早急な課題ですが、土砂崩れ時の土砂除去も緊急課題として残っています。市内業界団体とは災害時の協定を結んでいます。災害時には連絡網などが使えないことが予想されます。個別重機などの機材データや連絡先などを把握して、業界団体に任せるのではなく、市が主体となって災害対応ができるように体制を整えてほしい、とお願いしました。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒業
スパライズ株式会社代表取締役
大阪観光大学観光学研究所
客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ理事
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
鎌倉市テコンドー協会顧問
県議会議員中村省司秘書
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？



* 中沢は温泉コンサルタントでもあります *

妙見温泉：鹿児島空港から車で20分。隼人の地に妙見温泉があります。川のせせらぎを聞きながら、宿に着くとすぐに出迎えていただきます。ロビーからは旅情誘う「天降川」を眺めることができます。木々に囲まれた建物は、落ち着いた雰囲気です。泉質は炭酸水素泉。炭酸水素泉は、お肌にいい温泉です。体の芯から温める効果があり、すべすべのお肌を作ります。温泉そのものにもこだわりがあります。敷地内の源泉を水で薄めることなく、適温で浴槽まで送っています。さらに、「かけ流し」にもこだわり、毎分300リットルの源泉で賄える大きさの浴槽にしています。川沿いの貸露天風呂は、まさに自然の温泉。木々から漏れる日差しが温泉情緒を醸し出してくれます。薩摩は、大河ドラマ「篤姫」や「龍馬伝」で大きく取り上げられ、人気の場所となっています。薩摩と鎌倉の縁は深く、島津初代忠久公が源頼朝公ご落胤として、長く頼朝公墓所を管理してきました。また、薩摩二階堂氏は、二階堂の地に居を構えたことから名乗ったといわれています。鎌倉時代に思いをはせて、のんびり湯につかる。そんなひと時を。<http://www.m-ishiharaso.com/>